

# 会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第2回坂戸市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和4年10月26日(水) 開会：午後2時00分 閉会：午後3時5分
開 催 場 所	坂戸市役所 303・304会議室
議 長 ( 委 員 長 )	横田 政行
出 席 者	菅原 繁子、宮崎 準也、中村 博、横田 恒雄、田中 映子、 鹿ノ戸 久美子、久保田 美穂、杉田 義昭、加藤 拓、 小川 孝、横田 政行 11名出席
欠 席 者	北原 文子、向後 正隆、石橋 妙子、金丸 行男 4名欠席
事 務 局	安齊教育長、宮崎部長、岡田次長兼社会教育課長、 勝俣図書館長、清水中央公民館長、菅野社会教育課副課長、 三塚社会教育課主事、橋村社会教育課主事補 8名出席
会 議 次 第	別紙のとおり
配 布 資 料	別紙のとおり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司会(事務局)  委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 10月も終わりが近づき、1年を振り返る時期になってきた。 自分は卓球の指導を行っているが、ここ2年出来ていなかった大会が8月から再開し、2年前と同じくらいの規模で開催できた。コロナの対策として、卓球台に手を付けなかったり、タオルをかけられなかったり、試合ごとにボールを交換している。</p>

<p>教育長</p>	<p>今後も対策をしながら、様々な活動は継続していきたい。 今回は子ども会についての議題があるので、よろしく願います。</p> <p>委員の皆様には忙しい中の出席に感謝する。 新型コロナが少しずつ落ち着き、様々な事業を感染拡大防止対策を講じて実施している。 市内小中学生の新規陽性者は毎日1桁の状況。昨年夏から、5人に1人が感染している状況。市民全体では7人に1人が感染している状況なので、子どもの方が多いが、おかげさまで修学旅行等も順調に行えている。今後も新しい生活様式に沿った事業の展開に努めていく。 本日はよろしく願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>3 資料の確認</p>
<p>(議長：委員長)</p>	<p>4 協議事項</p>
<p>事務局</p>	<p>(1) 坂戸市及び近隣市の子ども会の状況について (資料に沿って説明)</p> <p>前回の会議で御意見いただき、市内の5つの子ども会に対する聞き取り調査及び近隣の3市に対するアンケート調査を行った。</p> <p>市内の子ども会の調査からは、多くの団体で役員の負担が大きいことが課題となっていることが分かった。</p> <p>近隣市のアンケートでも、市子連の有無の違いはあるが、役員の負担が同様に課題になっている様子であった。各市の教育委員会は相談に対しアドバイス等を行って支援をしている。</p>
<p>議長</p>	<p>つるまい子ども会とひまわり子ども会の会員は別の中学校に行くのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>つるまい子ども会は、浅羽野小学校区の鶴舞1・2丁目の方が会員である。ひまわり子ども会は、大家小学校区の鶴舞3・4丁目の方が会員である。いずれも、中学校区は浅羽野中学校区となり、原則同じ中学校に通うこととなる。</p>
<p>議長</p>	<p>つるまい子ども会の対象者は分かるのか。つるまい子ども会とひまわり子ども会の加入率を比較できるのか。</p>

事務局	<p>申し訳ないが、つるまい子ども会の対象者は把握していない。よって、加入率の比較もできない。</p>
委員	<p>第一住宅自治会子供会部のように自治会主体で子ども会を運営している団体は、市内で他にもあるか。できればこういった形でできると良いと思う。</p>
事務局	<p>前回調査の中から、加入数の多いところで、地区が集中しないように団体を選出したところ、たまたま第一住宅自治会が選出された。</p> <p>つるまい子ども会、ひまわり子ども会についても自治会から補助金が出ているなど、連携している団体があることは把握しているが、全ての団体の詳細を把握できていない。</p>
委員	<p>子ども会の勧誘や説明会などの実施方法は、それぞれの地区によって全く違うようだ。PTAと連携するところ、学校での勧誘が禁止のところなどがある。これは市で方針を決めているのか。</p>
事務局	<p>市で学校の対応を決めているわけではない。PTAとの関わりが深い団体は、学校の説明会で協力してもらっているのだと思う。大家小での勧誘禁止も学校から禁止しているわけではないと思われる。</p>
委員	<p>富士見市の単位子ども会が指すのは、単位子ども会をまとめる組織か。</p>
事務局	<p>地区にあるひとつひとつの子ども会を指している。単位子ども会をまとめる組織はないようだ。</p>
委員	<p>補助金交付は富士見市から出ているのか。</p>
事務局	<p>富士見市から各単位子ども会に直接交付している。</p>
議長	<p>塚越子ども会で、「子ども会未加入の保護者にはPTA本部役員をお願いする」とあるが、詳しく説明してもらいたい。未加入の保護者は自動的に役員になるのか。</p>

事務局	<p>環境保健委員、校外指導委員を子ども会加入の保護者から選出する代わりに、子ども会未加入の保護者の中から本部役員を選出するよう取り決めているとのこと。子ども会未加入の保護者が全員本部役員になるわけではない。</p>
委員	<p>P T A 連合会では、社会教育委員会議で行った調査やその結果について、情報提供しているか。</p>
委員	<p>今のところしていない。次回の幹事会等で報告したいと思う。</p>
委員	<p>P T A 連合会にこういった情報を出して、P T A 会長さんが、「子ども会はこうなっているのか」、「坂戸市はこういう状況なのか」と考えてもらえると、少しは状況が変わるのではと思った。ぜひ共有してもらいたい。</p>
委員	<p>役員の仕事の負担が大きいということが、子ども会発展の阻害の一因になっている。その負担をどのように軽減していけるのかだと思う。</p> <p>川越市では、職員が相談を受けアドバイスすると記載があるが、ほかにも役員の負担軽減のために行っていることがあれば参考にしてもらいたい。</p>
議長	<p>そのほかの事例を把握しているか。</p>
事務局	<p>把握していない。</p>
議長	<p>子ども会に加入している親御さんも忙しい。加入しない理由もそこだと思う。</p> <p>娘が子ども会に1年だけ入っていた。2年目は親が対応できないからやめたという話を妻から聞いた。保護者としては、役員になるのは負担。特に小学校はP T A 役員も負担という話を聞くが、どうか。</p>
委員	<p>子どもが小学生だったのはずいぶん前だが、役員決めはP T A でも昔から苦勞していた。子ども会は、役員だけでなく会員全員の保護者が、小さい子どもを連れて様々な行事に出なければならない。習い事や塾などそれぞれで参加できるものも増え、小さい子を連れて運動会に行ったり、クリ</p>

委員	<p>スマス会に行ったりと、とても大変だった印象。</p> <p>今の若い保護者は昔より忙しく、フルタイムの共働きばかりでお疲れになっている。その中で、これだけ坂戸でも子ども会の活動がされているのはすごいと思う。</p> <p>今は問題がうやむやな状況。子ども会が本当に必要なのかも分からない。市子連がなぜなくなったのかも分からない。話し合っただけで決めると思うが、現段階で、坂戸市がどういった方向に進むのか、教育委員会として進みたい方向があるのかどうかも分からない。</p> <p>昔の人は伝承や言い伝えで役員をやってくれたが、今は個人の主張が強くなっており、やらない人も多い。だが、子どもを育成しなければならないのは同じこと。</p> <p>方向をはっきりさせることができればよいと思う。市が一方的に決めるのが良いのかも分からない。現状を打ち破るものはなにか。アンケートはどこかに生きるのか。</p>
委員	<p>こういったアンケートを取ったからには、情報提供を積極的にすべきだと思う。そのうちの1つがPTA連合会。</p> <p>また、市子連があっても加入していなかった独自の子ども会、浅子連が現在も残っている。浅子連のいい点を把握してもらいたい。そこから子ども会の必要性を理解できると思う。現在の様子を調べてもらいたい。なぜ残っているのか、役員のなり手が続くのか、そういうことを調べると、ほかの子ども会にも影響することが分かるのではないか。</p> <p>この先どうするか考える必要もあるが、今回のアンケート等は実態把握したいということからスタートしたので、今後のことはまた皆さんで意見を出し合いたい。</p> <p>また、(入間地区では)飯能市が市子連が最初になくなった市。現在飯能市はどのような状況か情報を収集してほしい。</p>
委員	<p>子ども会の目的は何か。昔は育てる受け皿として子ども会が機能していた。それが今は習い事やスポーツ少年団など多様化して、子ども会に入らなくても育成できると考えられた結果が今の状況だと思う。</p> <p>何が何でも子ども会じゃなくてもいいのではないか。PTA連合会でも「できる人ができるときに全力でやろう」というスローガンを掲げている。子ども会も、廃止になるとこ</p>

議長	<p>ろは仕方がない。無理やり存続をお願いするのは違うと思う。</p> <p>社会教育委員会議で子ども会の問題を話し合うきっかけになったのは、市子連の解散。実態はどうなのか、必要なか確認してみましようということで、ここまで検討してきたと思う。続けましよう、やめましようということでもない。社会教育委員会議の中で、手助けできることはあるのかないのか、手助けの必要があるのかないのか、そういうことを論議するのがこの場だと思う。</p>
委員	<p>子ども会がどれだけ続いてきたか分からないが、子ども会の存在意義はあると思う。子どもの地区に対する愛着の問題や、健全育成の視点でも、いろいろな形で子どもの育成を行う必要がある。子ども会そのものは存続すべきではないか。</p>
委員	<p>子ども会からスポーツ団体に人が流れる時期もあった。しかし、2つは別物であり、スポーツ団体はスポーツを通して健全育成を担うものであって、子ども会は地域で育成するもの。子ども会は伝統、伝承行事、地域の会合などを教え引き継いでもらう側面もあったのでは。反面、地域性が弱くなってくると、子ども会がなくなってしまう。地域で子どもを育てようという意識が薄れた。若い保護者も子どもも地域の中でどう生きるかを体験していない。いいか悪いかは分からないが。</p>
委員	<p>アンケートで問題点がいくつか出てきたが、子どもとしてみれば、スポーツ団体に行くのも子ども会に参加するのも楽しいはず。</p> <p>保護者の大きな負担になっているのに対して、川越市では職員がアドバイスをしているとあるが、そういったことを充実すればよいのではないかと思う。子ども会があるところは、やはり活動したいし、子どもも楽しみに来る。活動での負担に行政が少しでも介入できる場、相談窓口や公民館に受け入れてもらえるところなど、気軽に相談でき、活動している方をサポートできる場所を設定できないかと思っている。</p> <p>公民館の推進員をしているが、公民館職員と連絡が取れ</p>

<p>議長</p>	<p>るのが9時から17時まででは、保護者も問題が解決できない。自分も市や公民館に連絡しなければと思ったときにいつも困る。役員さんが会議をしたら当然18、19時になってしまう。次の日に相談しようと思っても、朝からバタバタ動いたら17時はあっという間に過ぎてしまう。何かの形で連絡が取れて、アドバイスできる形、そういうものがあればと思った。</p> <p>ここでどうするということを決めるわけではないと思う。皆さんに御意見を出していただいて、実現可能なものがあれば、応援していけないかということだと思う。</p> <p>実際川越市で約80%、日高で約60%、富士見でも約60%の組織率を誇っていたということは、それなりに存在意義があるから残っているのではないかと思う。存在意義を坂戸でも生かす方向で少しでも教育委員会で応援ができるものはないか、もしくはどうしていけばよいかということを考えていただくのが良いのかと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>ただいま委員からいただいたお話のとおり、令和2年に市子連がなくなったときに、今後の地域における青少年教育をどうするかということで社会教育委員会議での議論がスタートした。その過程で、市子連がなくなっても、子ども会の活動が地域で行われているのではないかという委員の御意見に基づき、実態把握としてアンケート調査を行った。現在実態把握まで進んだところであるので、本日いただいた御意見や御質問を調べた上で、事務局でも調査研究し委員の皆様へ情報提供し議論をしていただきたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>では、継続審議という形になると思うが、今年1年かけてどういう方向に進むのがよいのか、皆さんの御意見をいただいきたいと思う。</p> <p>それでは、協議事項(1)を終わりにする。</p> <p>次に(2)その他について、委員のみなさんより何かあればお願いします。</p> <p>よろしいか。それでは事務局にお返しする。</p>
<p>司会(事務局)</p>	<p>5 報告事項</p> <p>(1) 令和4年度坂戸市政功労者等表彰の受賞者について</p>

事務局	<p>9月に社会教育委員1名が市政功労者表彰を受賞された。</p>
委員	<p>今回、坂戸市からこういった形で表彰を受けた。長く委員をしていたが、表彰を受け身の引き締まる思い。健康が続く限り任期を全うし、少しでも坂戸市の社会教育がよりよくなるよう努めたい。</p>
事務局	<p>(2) 入間地区市町社会教育委員研修会の結果について</p> <p>10月20日にふじみ野市にて研修会が行われ、事務局のほか、3名の委員に御参加いただいた。</p> <p>講師は県職員で「時代に合わせた社会教育の役割、生涯学習と社会教育」と題して御講演いただいた。</p>
委員	<p>講演を聞いて、とても元気な講師で、背中を押されたような気持ちだった。</p> <p>講義の中ごろに、「成功の反対は何か」という問いがあった。国語の授業では「失敗」になるが、社会教育委員としては「何もしない」ことが成功の反対であって、失敗を重ねた結果に成功があると聞いて、なるほどと感じた。</p> <p>コロナ禍で何もせずじっとしていても成功には結びつかないので、これからいろいろな課題にひとつひとつ前向きに取り組もうという思い。</p>
事務局	<p>(3) 令和4年度子ども大学にしているまの結果について</p> <p>子ども大学にしているま事業は、城西大学、明海大学、坂戸市、毛呂山町、越生町の各教育委員会で実行委員会を組織し実施しているもの。</p> <p>令和4年度は小学4～6年生を対象に実施し、坂戸市からは13名の参加があった。</p>
事務局（図書館）	<p>(4) 第9回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクールの審査結果について</p> <p>今年9回目となる。小学3～6年生の個人、グループを対象とした。市内小学校10校から、作品89点の応募があり、10月13日に審査会を行った。7作品が入賞し、最優秀賞「ひらけ！開脚！！～4週間で私の体がどうかわるのか～」、優秀賞「素敵に着物の世界 浴衣にチャレンジ」の2作品を全国コンクールに推薦する。今後は全国コンクー</p>

事務局	<p>ルの審査会が11月下旬、審査結果の発表が来年1月上旬ごろの予定。なお、11月2日に開催予定の市内小中学校の校長会において本日報告した内容を伝える。</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 第3回坂戸市社会教育委員会議の予定について 令和5年1月12日(木)午後2時、坂戸市役所201会議室で開催予定。 開催通知は別途通知する。日程について承知願う。</p>
副委員長	<p>7 閉会</p> <p>長時間にわたり慎重審議お疲れさまでした。 昨日はとても寒く、今日は暖かくほっとしている。気温の差が激しい中、どうかご自愛いただき御活躍されることをお祈り申し上げます。 では、第2回坂戸市社会教育委員会議を閉会とする。</p>